

令和3年7月教育委員会定例会 会議録

令和3年(2021)7月27日(火)午後1時30分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所3階庁議室に招集した。

1 会議に出席した委員

教 育 長	杉 谷 学
教育委員(教育長職務代理)	錦 田 剛 志
教 育 委 員	金 築 千 晴
教 育 委 員	内 藤 祐 馬
教 育 委 員	伊 藤 恵 美

2 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	三 島 武 司
教 育 部 次 長	松 浦 和 之
教育部次長(保育幼稚園課長)	金 築 健 志
教 育 政 策 課 長	常 松 博 雄
学 校 教 育 課 長	福 間 耕 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	兒 玉 浩 二
教 育 施 設 課 長	園 山 裕 二
学 校 給 食 課 長	石 橋 健 治
出 雲 科 学 館 長	鬼 村 修 治
学 校 教 育 課 主 査	山 本 芳 正
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	吾 郷 尚 志

3 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	池 尻 精 二
-------------------	---------

4 傍聴者

3名

開会

(杉谷教育長) 只今から、令和3年7月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 教育長行政報告

(杉谷教育長) それでは、「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

1 前回以降の動向

R3.6.25	定例市長記者会見
R3.6.28	市議会6月定例会閉会・全員協議会
R3.6.30	教育委員学校訪問(～7月6日)・出雲科学館運営委員会
R3.7.1	社会を明るくする運動メッセージ伝達式
R3.7.2	市男女共同参画本部会議・第1回教育政策審議会
R3.7.5	出雲教育事務所長訪問・政策プロジェクトチームとの意見交換会
R3.7.8	校長の会議
R3.7.20	第2回教育政策審議会
R3.7.21	市長定例記者会見
R3.7.20	いじめに特化した校長面接(～8月6日)
R3.7.27	定例教育委員の会議

2 今後の予定

R3.7.28	県知事・県教育長要望(県庁)
R3.7.29	市長と校長会の懇談会
R3.7.30	市議会全員協議会
R3.8.2	第3回教育政策審議会
R3.8.4	出雲市フレンドシップ事業、中学生サミット
R3.8.10	コミュニティセンター運営協議会
R3.8.11	戦没者追悼平和記念式典(市民会館)
R3.8.19	中国地区町村教育長研究大会(松江市)
R3.8.20	第4回教育政策審議会
R3.8.21	出雲市同和教育講演会(市民会館)
R3.8.23	幼稚園長会・幼稚園長会と教育委員会との意見交換
R3.8.24	全国高校PTA連合会大会(市民会館)・定例教育委員の会議

(杉谷教育長) 以上の報告について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

(杉谷教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回6月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に意見等ありませんので、6月定例会の会議録については、承認します。

3 議事

(杉谷教育長) それでは、議事に入ります。最初に「議第29号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育政策課 常松課長に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第29号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、議第29号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第29号については承認します。

(杉谷教育長) 続きまして、「議第30号 出雲市公立学校遠距離通学児童生徒通学費補助金交付要綱の一部を改正する要綱」を、教育政策課 常松課長に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 議第30号について、何か質疑等はありませんか。錦田委員。

(錦田教育委員) 改正について特に異議はございません。これまで400円、500円というのが何年くらい続いたのかわかりませんが、この段階で経済状況等を勘案されて5年なら5年、3年なら3年というふうに、定期的に見直しをされるのでしょうか。また、実績として、対象となる児童生徒は何人くらいいるのでしょうか。

(杉谷教育長) 常松課長。

(常松教育政策課長) 400円、500円という金額は、旧出雲市の金額をそのまま引き継いでおり、いつからその金額になったかというのは定かではありません。今回

の改正については、徒歩については長靴や防寒具といったものを勘案して、6年分相当を月割りにしたものです。自転車通学も自転車代、ヘルメット代や保険代というのを勘案し、同額としたところですが、これらについては長期間見直しができなかったもので、何年ということは考えておりませんが、適宜見直しをしていかないといけないと感じております。それから、徒歩については現在27名、自転車についても現在同じく27名対象の児童生徒がいます。

(杉谷教育長) 他に質疑ありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 質疑等がないようですので、議第30号を承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第30号については承認します。

(杉谷教育長) 次に、「議第31号 出雲市社会教育計画策定委員会設置要綱」及び「議第32号 出雲市社会教育計画策定委員会委員の委嘱について」は関連がありますので、一括議題とします。両議案について、教育政策課 常松課長 に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 設置要綱について、組織と委員の役割みたいなところと、今回それぞれの委員について、若干紹介していただけないか。

(常松教育政策課長) 社会教育計画なんですけれども、30年度に作りましたけれども、市長と教育委員会部局の事業の再点検をして、整理をするということの一つの目的としています。委員については、濱田先生は今市小学校の校長の際に清國先生と一緒にあって、いろいろな社会教育についての取り組みをされておりました。打田先生は、現在出雲市コミュニティセンター長会会長ですけれども、この方も中学校の校長であり、以前教育委員会の教育部長でもいらっしゃいました。それから、次の久家さん、堀西さん、森山さんは現在生涯学習委員となっております。久家さんは、島根県スポーツ推進員協議会会長でいらっしゃって、スポーツの分野に明るいと。それから堀西さんは、NPO法人、特に外国人に対してのいろいろな取り組みをされていらっしゃいます。それから、森山さんは、今回島根県の社会教育委員連絡協議会の副会

長に就任されており、また原田校長先生ですけれども、社会教育主事、それから広島
の、江田島少年交流の家の社会教育主事もやっておられました。

（杉谷教育長） 今回の策定委員会設置に関する基本方向、目的について、また、委員
の皆さんについて説明をしてもらいましたけれども、何か質疑等はありませんか。内
藤委員。

（内藤教育委員） 先月も説明があったと思いますが、もう一度、この策定委員会が具
体的にどのようなことをされるのか教えていただけないでしょうか。

（杉谷教育長） 常松課長。

（常松教育政策課長） 社会教育計画というものがあまして、こちらは30年度策定
したのですが、この計画を見直していただく委員です。この計画は、理念的なもの
から個別の事業についてまで記載されているんですけども、個別の事業について
は、教育委員会、市民活動支援課や文化スポーツ課などがそれぞれ個別の計画をもっ
ております。そういった個別の計画については、各担当の計画へ委ね、社会教育計画
は理念的なもの、社会教育計画は社会教育分野の理念的なものとして整理するよう
になります。委員会では、そのような俯瞰的な立場で計画を見ていただこうと考
えています。また、各事業の目指す方向がばらばらになってないかというところも審議
していただきながら、見直しをしていきたいと考えています。

（杉谷教育長） 内藤委員。

（内藤教育委員） 理念ということで、大枠がそういったことですね。ICTという言
葉がずっと出ていたと思うのですが、社会教育のところで、こういったところがICT
につながるのでしょうか。意見にはなるのですが、社会教育においてもICTをど
んどん導入していかないと、地域が遅れていくような気がするので、それを念頭に入
れてもらって、委員を選んでいただきたいと思います。

（杉谷教育長） ご意見ということですが、常松課長いかがでしょうか。

（常松教育政策課長） ICTの取り組みについても、社会教育は関係あると思うので
すが、こちらはどちらかという、リアルな、人と人とのふれあいをどちらかとい
うと重視しております。ICTの普及というのも大事ですが、現在、人と人との付き合
いというか、そういったことが停滞しております。むしろ、リアルな人間と人間との
つながりによって地域を活性化するといった仕掛けづくりを考えていけたらと考
えています。

(杉谷教育長) 三島部長。

(三島教育部長) 今回の社会教育計画の策定委員と言うのは、要綱をご覧になっていただくとわかっていただけたらと思うのですが10人以内、現在決まっているのは7人。これを審議していくうえで、委員の中でそういった話が出れば、柔軟に対応していきたいと思います。現段階でICT専門の委員は入っておりませんが、まず、理念的なところをしっかりとクリアして、足元をしっかりと見つめ直すということをやりたいと考えております。社会教育の部分は、現在の教育委員会の中で行っているのはほんの一部、その他の部分は、市長部局でやっております。市長部局で補助執行していただくことは、そのこと自体は問題ないのですが、社会教育、すなわち、人の成長を考慮せずに行っている面があるとすれば、問題があると考えている。今一度、社会教育計画の見直しをして、足元をしっかりと見つめ直すということを考えています。現段階ではこのやり方でやっていきたいと考えています。

(杉谷教育長) 他に質疑ありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 計画の策定状況については、この場で説明する場面を持たなければならぬと考えています。もちろん、教育委員のみなさまにご意見を伺いたいと考えております。今回、そこへ向かうための要綱と委員の委嘱ということでお諮りしたいと思いますが、議第31号及び議第32号を承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第31号及び議第32号については承認します。

4 報告

(杉谷教育長) それでは、報告に入ります。6月末と7月6日に行いました学校訪問について、教育政策課 常松課長から説明願います。

(常松教育政策課長) 資料を用いて説明

(杉谷教育長) 各学校へ初めて行かれた委員さんもありますし、以前とは違った状況を見ていただけたところもあったと思います。せっかくの機会ですので、感想をお一

人ずつお伺いしてもよろしいですか。錦田委員。

（錦田教育委員） 6月30日は仕事の関係で出かけることが出来ませんで、7月6日のみ参加させていただきました。総合的に、児童生徒の皆さんは非常に落ち着いて、しっかりとした学習態度であったなということを感じました。また、教諭の方々が、一生懸命教壇で汗をかいておられる姿を見まして、安心したところです。ただ、校長先生方のお話で、不登校傾向にある子どもの対処について、苦勞なさってるということをお聞きして、そう簡単には解決はできないとは思いますが、今後また、少しでも楽しい学校生活送れるように、児童生徒が学校に来れるようになればいいなど感じました。教育委員として、教育委員会として、どういうことが有効な施策かなと考えていました。あと、子どもたちの挨拶が非常に明るくて安心いたしました。

（杉谷教育長） ありがとうございます。続いて、内藤委員。

（内藤教育委員） 錦田委員と同様に、不登校の子の人数というのが、各校とも気になりました。これはやっぱり学校と、親御さん、その関係性で、今後解決していかないといけないという中で、非常にその関係性っていうのは難しいんだろうなと思いながら、見させていただきました。それと、学校の沈下といった、危険なところだけはさすがに直していただきたいなと思いました。また、今回見学をさせていただく中で、パッドを使われて、大きな画面で授業をされておられました。非常に皆さん一生懸命取り組まれて、非常によかったなと思ってはいるんですけど、ただ、止まっている画面っていうのが非常に目立ってまして、動きのある授業が今後できていけば、非常に授業も面白くなってくんじゃないかと思いました。先生方は大変だとは思っているので、今後また、そういったことを、研修などを実施していただければ、ICTは使いようによって非常に教育にも役立つと思いました。今後ともしっかりやっていただきたいなと思います。

（杉谷教育長） ありがとうございます。続いて、金築委員。

（金築教育委員） 7月6日にご欠席させていただきました、6月30日だけ訪問させてもらったんですけども、今皆さんおっしゃったような不登校が多いというのが気になりました。平田中学校でお伺いしました、スクールバスで通う子が朝起きれなくて、乗り遅れたらそのまま学校に来ないというのがありまして、すごくそこが気になって、スクールバスがなくなったらもう行く手段ないかなとも思ったんですけど、生活バスに乗せていただくことができれば、そこに乗せてもらって、学校に向かえるようになったらいいのかなと思いました。休んだら休んだで終わりじゃなくて、何か行

く別の手段があればいいなど、少し思いました。ICTの方見てもらったんですけども、まだまだこれからではあると思うんですけど、国富小学校かな1年生向けに授業されておられて、プリントか何かの授業だと思うんですけども、「新規作成」って漢字で書いてあるんですよ、画面に。新規作成漢字で書かれても小学校1年の子では、読めないのかなあと思ってました。先生も、すごく苦勞しておられて、新規作成が子どもが読めないよねと、ああいうソフトのかなと思ったり。低学年でも使うこと前提だと思うので、わかりやすい表現とか、わかりやすいアイコンとかあるといいかなと思ってました。そういう部分とか改善されていくと思うんですけど、このままでちょっと辛いかなと、少し感じました。授業にもよると思います。

(杉谷教育長) ありがとうございます。伊藤委員。

(伊藤教育委員) 学校を見させていただいて、私が子どもだったときとことなり、先生と生徒との距離が近いなと感じました。タブレットの授業を見させていただいて、そう思った。一方的でなくて、お互いのやりとりが見られて、素晴らしい授業がされているなと思って拝見させていただきました。私が気になったのは、学校の老朽化と生徒の増加に伴って、クラスが狭いなと思った中学校が何校かありました。その辺が出雲市の予算とどのような兼ね合いで、改善されていくのかなというところが、不安だなと思わせていくところがありました。

(杉谷教育長) ありがとうございます。タブレットと大型モニターを使った授業をどの学校でも実施をしていくという中で、今回1学期の途中の段階での状況を見てもらって先ほど指摘のあったように、普段の我々が使っている言葉がそのままでは通じないなという、そういうところも気づいて修正をしていくしかないのかなというふうに思いました。研修等の話もあったんですけど、今後の予定等あれば紹介をしてください。

(福間学校教育課長) ICT、先生方の研修が大事だご意見いただきました。夏休みにかけて、今回メインのソフトである sky menu というソフトがあるんですが、その1校ごとの研修が行われる予定です。また、先般は、市の市教育研究会で、これも全校を対象にICTの研修を行いました。また、市の方からは、各学校で校内研修の呼びかけをしており、先般も教頭先生の面接で各学校歩いてるんですけども、夏休みを使って先生方の校内で研修をぜひして、2学期からの活用期に備えたいということをお伺いしております。

(杉谷教育長) 先般、県内の都市教育長会でもICTの活用について意見交換をする

機会がありまして、それぞれの市町または、機材が整わない町もあります。入っていてもなかなか使用にまで至らないというところもあって、その進捗状況は様々のようです。せっかく出雲市の場合は、前年度末で、1人1台それから教員も指導者用のタブレットを整備しましたので、使っていくことと、それがどう子どもたちの学びに有効な場面で使えるかというところを探ってってもらうのが、現場でやっていただくしかないかなというふうに思っています。雛形みたいなものとか全国の先進事例等はいくらでもあるんですけども、目の前の子どもたちの状況に合わせるためには、決まった形だけでは、とても対応できないと。先ほど金築委員から指摘あったように、大人がわかっている用語でも低学年にはわからないというそういう気づきもやりながらじゃないと、実感としてわからないだろうというところもあって、手探りの状況ではあるんですけど、2学期、活用が進んで子どもたちの学びに、ちょっとずつよい効果が出るようにしていきたいと思っています。研修、それぞれ学校でしていただく中で、先生方のスキルを上げていただいて、得意でない先生方も少なからずいらっしゃいますけど、嫌がらず使ってもらうということをまず進めていかなきゃいけないと思っています。この状況についてはまた、後半の学校訪問で、同じ学校ではありませんが、学校を見ていただきながら、また様子をご覧いただけたらというふうに思っております。それから施設面、ご指摘あったのはさくら小学校の特に校庭側の地面の沈みというか、これ以前から指摘をされてる状況でなかなか隙間を埋めるということは地面を持ち上げるというわけにはなかなかいかないところもあって、配管等で学校の生活に支障が出ないよというところを点検はしてもらってますし、我々も現場に行ってみている状況です。修繕の要望があれば、できるだけ早期に対応するように、教育施設課の方で対応してもらってるというふうに思ってますが、何か、要望とかありますか。特に今回目についたのはさくら小の校庭側の地面の状況でした。

（園山教育施設課長） さくら小学校に関して、平成17年の合併した段階のところで、見させてもらって、その後も、どうしても気になる施設。さくら小ばかりでないんですけども、連携をとってやっていくってというのが大切と思っております。私ども大体毎年1回秋のところで、営繕要望というのを出してもらって、そこで現地に行く機会があります。学校は、年に何度か安全点検っていうのが行われますので、そういったところで気が付いた点に関して、遠慮なく私ども教育施設課の方に言ってもらって、すぐ対応させていただいてるところです。

（杉谷教育長） 修繕については、大掛かりなものはなかなか一度にっていうふうに行かないところもあります。細かなものも含めてできるだけ早く対応していくという姿勢でおります。お気づきの点があれば、お知らせいただけたらと思います。今年から、中学校3年生38人編成になって、今回、浜山中学校の3年クラス全部回らせて

もらって見させていただきました。生徒自身の体の成長もあって、クラスが36、37のクラスだったと思っておりますが、本当に後ろぎりぎりぐらいまで子どもがいる状況は、教室狭いなというふうな印象を受けました。前年までは、35人学級編制でしたので、浜山中にあたっては32人とか31人とかのクラス編成でしたから、一つの学級に関しては5人ぐらい増えてるという状況になると、5人っていうとほぼ1列です。狭いという状況が目に見えてる感じは受けました。国はまだ中学校については40人の学級編成ですので、これを早期に35人にしてもらいたいという要望は、いろんな場面で続けています。県としても、様々な議論の中で、国の40人よりもわずかに少ない38人と。ただ、これまで35だったのを38にされたものですから、その影響は、今年の中3、中2含めて、大きく出てるのかなと思っています。いずれにしても国が小学校同様に35人学級編制に早期にしてもらおうということを求めていくしかないのかなというふうに思っています。これについては、県の教育長への要望も含めて国に働き掛けてもらうように。国もそういう動きで進んでいるように報道ではあるのですが、具体的な実現の目途がまだ立っていないので早期に実現されるように望んでいるところです。この学校訪問について、2日間の感想をお聞きしましたけれどもよろしいでしょうか。また、後期のところもご協力をよろしく願いいたします。では、報告の2点目になります。令和3年度 市学力学習状況調査結果分析と改善策についてを学校教育課福間課長から説明願います。

（福間学校教育課長） 資料に基づき説明。

（杉谷教育長） はい。1月のところで、先ほど説明ありましたように市と全国両方の調査をしております。時期は異なっているために今回は、市の各状況調査の結果概要のみを報告させていただきました。先ほどの説明につきまして、何か感じ取られることとか、質問がありましたらお願いいたします。メディアの利用と学習時間、状況っていうのは、何となく相関があるのかなと思うんですけど。2時間以上というのが、どこまでいってるのかっていうのがあって、先ほど学校訪問の時にも不登校の状況が心配されるということもありました。生活習慣の乱れから、なかなか朝起きれないとか、ひどい子にあっては昼と夜と逆転してるような状況に、ゲーム依存でなっていると学校からの報告にはあるものですから、この辺りは、2時間以上で2時間ぐらいで収まってればいいんですけど、これは、その倍とかっていうような時間までやってる子が、どの程度までいるのかっていうところは、すごく気になるところです。ただこれも個別のことなくてそれぞれの学校で、この表を見ながら、状況把握して、個別の指導、支援してもらえないのです。そういうところで、数値としては先ほど言った割合で出てくるんですが、本当はいろんな問題を含んでる部分であるというふうにとらえています。数字一つ一つ説明しませんでした。またじっくりご覧いただい

て、何か機会で話題にさせていただけたらと思いますので、一応、報告については以上とさせていただきます。続いて、3番目令和3年度の始業式及び終了式一覧について、学校教育課の福間課長から説明をお願いします。

(福間学校教育課長) 資料に基づき説明。

(杉谷教育長) これについては、学校が定める日にちで始業終業しておりますけれども、ご質問ございませんでしょうか。それでは、続いて学校閉庁日につきまして、同じく福間課長の方から説明をお願いします。

(福間学校教育課長) 資料に基づき説明。

(杉谷教育長) こうした期間を定めて、先ほどありましたように、休暇取得を促すということにしております。これについて、ご質問ございますでしょうか。それでは報告につきましては以上でございます。

7 その他

(杉谷教育長) その他に移ります。教育委員会の後援について、常松教育政策課長に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明。

(杉谷教育長) これについては、ご質問ございませんか。金築委員。

(金築教育委員) 4番目の、夏休みゼロカーボンチャレンジていうのがすごく気になるんですけど。この取り組みとか私達も知ることができますか。

(杉谷教育長) 常松課長。

(常松教育政策課長) すみません。ちょっと調べさせていただきます。

(杉谷教育長) 申請出ておりますので、概要はわかるようになっております。それではないようでございますけど委員の皆様には事務局から何か追加でございますか。錦田委員。

(錦田教育委員) 私、毎回学校訪問した際に感じておりその都度申しあげましたが、

「そこまで贅沢言っでは」というご意見もあるかもしれませんが、今回もまた「職員室が狭苦しいなあ」とやはり感じました。職員室内の収容人数が昔と違って、アシスタントやボランティアの方など様々な方が増員され、圧倒的に増えていると思いました。やはり教職員が創造的な良いお仕事をなさるためには、職場環境の改善の一環として職員室内のスペース確保、余裕のある空間確保は大事だと思われまます。新しい学校、最近出来た学校はそういう配慮がなされていることは十分承知しています。

しかし、古い校舎の職員室は雑然としている印象を強く持ちました。それでも現場の先生方は平素の業務に追われ、そうした状況が「慣れっこ」になっているのではないかと…。

しかし、普通の会社オフィスで、あのような雑然とした状況は、整理整頓が出来ていないというレベルを超えているような気がします。私の昔の職場環境も同様でしたので偉そうな事は言えませんがやはり、クリエイティブで、効率的で良い教育、仕事をするためには、教職員の職場環境、とりわけ職員室のスペース確保と整理整頓、環境整備などをぜひ行っていつてはどうかと思いました。

教育委員として4年目になりましたが、初年度からずっと感じていることを申しあげました。財源確保等が難しいことは推察しています。大変だとは思いますが、ぜひとも施設面からも援助願いたいし、また出来ることならば、各学校でいわゆる「断捨離」などの環境改善策を進めていただきたいと思います。もう少し広くてきれいな職員室で、一層良い仕事が出来るとなれば良いと願います。

(杉谷教育長) なかなかスペースを拡張するというのが、難しいという状況もありますし、ご指摘いただいたように、新しく建てる学校は、かなり余裕を持たせていますので、そこら辺りと比べられると古い年式の学校は、狭いかなど。職員自体も以前と比べると1.5倍と言いませんが、かなり加配の教員とか、市の会計年度職員など多数入っていますので、狭い状況になっていることは、間違いありません。職場環境をどういうふうに整えていくかという、一つの先ほどおっしゃった断捨離、いらぬものを整理してくつていうのは確かにあると思います。スペースを確保するつていうことは、ちょっと物理的には難しいんですが、何かを、大型の改修時にそういうことが可能であれば、考えるということぐらいなかなかちょっと、できにくい状況ではありますけど、ご指摘はごもつともだと思っております。

(杉谷教育長) 松浦次長。

(松浦教育部次長) 今、錦田委員が言われたこと、本当に教員である私としても非常に胸が痛むような、確かにその通りだなというふうに思います。実は教職員の多忙感を解消するということを行いますけど、何が、多忙感を増してつて聞いたとき

に、自分が例えば何か行事を企画しようとしたときに去年までのファイルっていいですかあるいはその去年使ったものが一体どこにあるのかよくわからずそれを探すのに1時間ぐらいかかって、去年、経験した人も確かあそこにあったはずなのに。本来使うべきものが使われなければいけないものがきちんと整理されていないとか、だから決められた場所に置かれてないとか、そういうことも多忙感を増している大きな原因になっているようです。錦田委員ご指摘あったように、きちんとした管理といいますか、各学校で心がけていかないと、教職員の労働時間も増えていったりなんかするそういう悪影響にも繋がっていくと思いますので、また何かの機会に、学校の方に呼びかけしていきたいというふうに思います。

(杉谷教育長) 常松課長。

(常松教育政策課長) 後援についてですけれども、夏休みゼロカーボンチャレンジということで、小学校4年生を対象にして、省エネ、ゼロカーボンの取り組みにチャレンジしてもらい、チャレンジ結果を評価することで、環境保全や省エネの取り組みに対して、意識の高揚を図るとともに、子どもたちはもとより家庭を巻き込んだ、ゼロカーボンに対しての啓発を目指すということで具体的には、後ほどご覧いただきたいと思うんですけれどもこういった紙の、毎日例えば、見てない時のテレビを消したとか、資源ごみを捨てたとか、エアコンの適切な温度を保ったとか、そういったことを日にちを書いていただいて、その日数に応じて何グラムCO₂が削減されたかを合計して出すというような取り組みのようです。

(杉谷教育長) よろしいでしょうか。

8 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長) 次期教育委員会の日程ですが、8月24日(火)に開催させていただきます。午後2時からこの庁議室で開催いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

閉会

(杉谷教育長) 以上をもちまして、令和3年7月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(14:40) 定例教育委員会閉会